

## 平成24年度下半期 教育委員会 活動報告

平成24年12月に「第3回研修会」と「第2回鹿児島県の助産師が笑顔になる会」を実施、平成25年2月に「性同一性障害の子ども：さらに広がる学校の役割～医療の現場から～」、3月には「第4回研修会」を実施しました。

### 「第2回鹿児島県の助産師が笑顔になる会」

平成24年12月21日（金）19：00～22：00 於：雛商店（鹿児島中央駅近く）

講師は上ノ町美代子氏（鹿児島中央助産院院長）で「中央助産院での母乳育児支援の紹介」の講演のあと、親睦会を開催しました。参加者は会員11名と子ども2名で、和気藹々とした雰囲気にも満足感の高い会になったようです。新しい会員の助産師からは、「こんな機会があると色々な話が聞けてうれしいです！」との感想が寄せられました。

### 「平成24年度 第3回研修会」

平成24年12月22日（土）9：30～12：00 於：鹿児島中央助産院 会議室



会員が参加した研修会の報告が3枠あり、「子どもを守るための研修会（子どもの虐待予防、予防接種など）」の報告を米山晃代助産師、原田すず子助産師、「新生児訪問指導者研修会」の報告を原口郁代助産師、「周産期救急の効果的対処法（ALSO コース受講）」の報告を野中涼子助産師にいただきました。

参加者は18名（全て会員）でした。

予防接種の最新情報や虐待予防について深い学びができました。

また、周産期救急の具体的な対処法をデモンストレーションを交えた報告でより分かりやすかったとの意見がありました。

### 公開講座「性同一性障害の子ども：さらに広がる学校の役割 ～医療の現場から～」

平成25年2月16日（土）10：00～11：45

於：鹿児島市勤労者交流センター（よかセンター：ダイエー鹿児島中央駅店うえ）

講師は中塚幹也先生（岡山大学大学院教授／岡山大学ジェンダークリニック）で、

大変多くの方々に興味を持っていただき、当日の参加者は221名（助産師会会員28名、行政関係51名、学校関係者98名、病院関係8名、その他36名）でした。

参加者のアンケートでは、「性同一性障害について最新の基本的な知識を頂き有難かった」「全国区の先生の話が聞ける機会はなかなかないので大変勉強になった」「もっと勉強したいし、もっと理解し



なければという気持ちが強くなった」といった感想が多く寄せられました。

今回の公開講座は鹿児島県助産師会の性教育委員会と教育委員会との協働でした。他職種の方々へ鹿児島県助産師会の活動を知っていただく機会にもなったようです。

GIH（性同一性障害）学会理事長の中塚先生の話は貴重なものでした。最新の性同一性障害の基礎知識および当事者の方々の現状、さらに問題提起もしていただき、性と向き合う助産師の活動の中には必要な学習機会であったと思いました。

#### **「平成 24 年度 第 4 回研修会および保健指導部地方部会」**

平成 25 年 3 月 16 日（土）10：00～12：00

於：県民交流プラザ鹿屋医療センター 2 階講堂

「母子訪問指導者研修会」報告を原田郁代助産師、「女性健康支援センターの現状把握及び相談者の質向上」研修会報告を竹内裕子助産師が行いました。

有志による昼食会では、鹿屋の食材をふんだんに使った美味しい料理に舌鼓を打ち、豊富な話の内容にアツという間に時間も過ぎ、後ろ髪をひかれながらバタバタと帰路につきました。大隅地方で頑張っている助産師の方々と知り合えるいい機会となり、大変有意義な地方会になりました。